

(様式 1)

令和 7 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立文花中学校
校長名	遠藤 博則

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
・ 1 年生 国語・数学・英語で全国平均値を上回った。 ・ 2 年生 国語・社会・数学・英語で全国平均値を上回った。数学・英語は 5 p 以上上回った。 ・ 3 年生 5 教科全てで全国平均値を上回った。数学は 5 p 以上上回った。	・ 1 年生 全国平均値比で、社会科の基礎が 4. 1 p、知識・技能が 4. 6 p 下回った。理科の活用が 3. 9 p、思考・判断・表現が 3. 9 p 下回った。 ・ 2 年生 全国平均値比で、理科の基礎が 3. 6 p、知識・技能が 3. 5 p 下回った。 ・ 3 年生 全国平均値比で、理科の活用は + 9. 9 p だったが、基礎が + 1. 7 p だった。また、思考・判断・表現は + 7 p だったが、知識・技能が + 1. 9 p だった。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
・ 全学年 学級の規範意識は、昨年度に引き続き標準スコアで全国値を大きく上回り学級風土は良好である。 ・ 1 年生 先生のささえ、対話・話し合い、いじめのサイン、生活習慣で全国値を + 2 p 以上上回った。 ・ 2 年生 対話・話し合い、いじめのサインが全国値比約 + 2 p だった。 ・ 3 年生 学習意欲が + 2 p 以上上回った。	・ 1 年生 平日のテレビや動画などの視聴時間 4 時間以上が 28. 9% いる。また、土日などに全く学習をしないが 26. 7% いる。 ・ 2 学年 平日のテレビや動画などの視聴時間 4 時間以上が 43. 4% いる。また、平日の就寝時刻 12 時過ぎが 19. 7% いる。 ・ 3 学年 平日の就寝時刻 12 時過ぎが 20. 5% いる。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
・昨年に引き続き、漢字、計算、英単語コンテストに向けての家庭学習（ホームワークマラソン）や直前1週間の朝学習での反復学習が定着し、令和6年度の合格率は、漢字 96%・計算 83%・英単語 93%と高い数値を維持している。 ・検定3級以上合格者を、漢字 34 名・数学 22 名、英語 63 名出すことができた。 ・令和7年度全国学力・学習状況調査で、国語・数学・理科とも全国の平均正答率を上回った。	・コンテストに向けての家庭学習が定着していない生徒が少数いる。 ・英検1次合格者のうち、2次合格者の割合が伸び悩んでいる。検定前特別補習を行い合格者の割合を伸ばしていく。 ・令和7年度全国学力・学習状況調査の理科で、探究の過程における記述の問題の無回答率が全国・都より高い。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現により、確かな学力の定着を図る。

- ・校内研修のテーマである「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現を目指した授業を展開する。
- ・外部講師を招いた研修会・指導教諭の模範授業参観とその後の校内伝達研修・授業参観週間での相互授業観察とアドバイスを通して学校全体で指導力を向上させる。
- ・日々の形成的評価・学力調査や定期考査を活用した分析により、定着が不十分な生徒や分野を見極め、重点的に支援を行うことにより、DE層の減少につなげる。
- ・授業の冒頭で本時のめあてを明示し、個での思考→小集団での話し合い→学級での共有→個での再思考のサイクルを働かせ、多様な意見を参考に深い学びの実現を図る。

(2) 学びに向かう力と人間性の向上と、自己肯定感を高める指導を行う。

- ・「人は環境で育つ、その環境は人がつくる」のスローガンを、生徒会が中心となって具体的な行動目標にした「文中レンジャー ～5つの心得～」を各フロアに掲示し、生徒一人一人が自分事として学習環境を整える意識を高める。
- ・非認知能力に関する講話を全校朝礼で行い、特にメタ認知的知識・メタ認知的モニタリング・メタ認知的コントロールの力を伸ばす。
- ・i-checkの結果分析を研修として行い、学年全体で課題のある生徒の支援を行う体制を作る。
- ・年3回の基礎学力コンテスト（漢字・計算・英単語）を通して、やればできるという達成感を体験させ、自己肯定感の向上を図る。

(3) 補習学習や家庭学習の支援を行い、自学自主できる力を養う。

- ・放課後学習教室や試験前の質問教室などの取り組みを進路学習部が中心になって計画的に実施し、特に学習が苦手な生徒への支援や、学び方を学ぶ機会を保障する。
- ・各教科で、「ふりかえりシート」・「問題データベース」・「ミライシード」を活用した授業内でのアウトプットを行い、活用方法に習熟させ、生徒自身が家庭学習で活用できるような力を伸ばす。

3 「令和８年度 墨田区学習状況調査」における目標

(１) 目標

- ・ 墨田区学習状況調査の平均正答率全国比において、同一集団が経年で確実に向上する指導を行う。
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現を進め、ＤＥ層を減らし、ＡＢ層を増やす指導を行う。
- ・ 非認知能力、特にメタ認知力を高める指導を行い、学びに向かう力・人間性を伸ばす。
- ・ 授業中・家庭学習でのアウトプットを徹底し、着実な学力の定着を図る。